

「太子町水道ビジョン・経営戦略(案)」に関するパブリックコメント
(お寄せいただいたご意見に対する町の考え方)

【意見募集期間】平成30年1月26日から平成30年2月23日まで(29日間)

「太子町水道ビジョン・経営戦略（案）」に関するパブリックコメント（意見の要旨・町の考え方）

提出者	項目区分	意見の要旨	町の考え方
A	<p>第2章 太子町の概要 2.2 水道事業の概要 2) 経営状況 (1) 収益的収支 (14 ページ)</p>	<p>職員給与費が 14%を占める中、削減・見直しの検討も無く最初に水道料金の値上げに踏み切るのだけは止めて頂きたい。 水道料金を値上げする前に徹底してやらなければならない事、やれる事はまだまだあるのではないか。</p>	<p>水道事業に従事する職員の給与費は、一般行政職員と同じ算定基準を用いており、人事異動や年齢構成等の要因により増減しますが、水道事業の人件費負担が過大とならないよう職員配置にも留意してまいります。 老朽化が進む水道管や水道設備が増える中、可能な限りの長寿命化を図って更新・維持管理の費用を抑制し、事務の効率化とともに経費節減に努めておりますが、その一方で支出総額に占める固定経費の割合が高くなる傾向にあります。民間業者と異なり利益の追求を目的としない地方公営企業として、引き続き必要最低限の収益で経費を賄うことを念頭に置いて経営の安定化を図ります。</p>
	<p>第2章 太子町の概要 2.2 水道事業の概要 4) 職員数 (17 ページ)</p>	<p>技術職員の減少を補充出来ないとの事だが、固定職員を増やす事だけが唯一の対処法ではないと思う。 業務内容にもよるが、民間業者と中長期のコンサルタント契約を結び、水質等の調査・管理を委託するなど、さまざまな方法があるのではないか。</p>	<p>現在、施設等の維持・補修中心の業務に技術職員1名が従事しておりますが、整備等の経緯・経過や現況に係る知識・技術が求められ、その継承や今後の老朽化対策の事業量増加と計画的推進、事故・災害時の復旧対応等への体制づくりが必要と考えております。 水質分析業務や水道の開栓・閉栓・検針業務、夜間・休日の施設管理業務などを民間事業者等へ委託しておりますが、近年は委託先の寡占化や人材不足等に伴い費用増加の傾向にあり、特に技術・専門性の高い、包括的な業務では高額な委託料を要します。ご意見を参考に、継続・持続性に配慮した業務委託の活用と、職員数の最適化に努めます。</p>